

海外感染症流行情報(2013年11月)

東京医科大学病院 渡航者医療センター

・MERS コロナウイルスの流行状況

WHOは MERS コロナウイルスの流行状況について、2 か月ぶりのサマリーを発表しました(WHO Global Alert and Response 2013-11-20)。

これまでの累積患者数は 176 人にのぼり(19 人は疑い)、このうち 69 人が死亡しています。最近 2 か月間をみると患者数は 27 人で、一定の頻度で患者発生が続いているのがわかります。国別ではサウジアラビアでの患者数が最も多く、新たにクウェートとオマーンも患者発生国になりました。感染経路としては、患者からの 2 次感染が 97 人で半分以上を占めています。しかし、最近 2 か月間に限定すると、2 次感染の患者数は少なく、動物などからの感染を疑うケースが大多数を占めています。11 月中旬、サウジアラビアでは、患者の保有するラクダから MERS コロナウイルスが検出されており、ラクダが感染源になっている可能性もあります。なお、11 月中旬にスペインで疑い患者が発生しましたが、この患者も発病前にサウジアラビアを訪問していました(外務省・海外安全 HP 2013-11-11)。

・中国で鳥インフルエンザ H7N9 の患者発生が再燃

中国沿岸部では今年の10月以降、鳥インフルエンザ H7N9 の患者が 4 人発生しています。患者が発生しているのは浙江省や広東省で、累積患者数は 140 人(うち 45 人死亡)になりました(WHO Global Alert and Response 2013-11-6)。中国では夏以降、市場などで生きた家禽の販売を禁止してきましたが、最近は再び販売が行われています。これに気温の低下が加わり、流行が再燃することが懸念されています。中国に滞在中は生きた家禽の販売されている市場などには立ち入らないようにしましょう。

・東南アジアでのデング熱流行状況

東南アジアではマレーシア、シンガポール、ベトナムでデング熱の患者数が増加しています(WHO Western Pacific Region 2013-11-13)。とくにシンガポールでは今年の患者数が約 2 万人に達しており、これは昨年の 5 倍の数です。同国ではデング熱と近縁のチクングニア熱の患者も増加しており、滞在中は蚊に刺されないように十分な注意が必要です(検疫所 HP 2013-11-14)。

・シリアでポリオ患者発生

シリアでは 10 月からポリオが流行しており、11 月中旬までに 13 人の患者が確認されました(WHO Global Alert and Response 2013-11-11)。患者のほとんどは 2 歳未満の子どもです。現在、シリアは内戦下にあり、周辺諸国に難民も流失していることから、流行の拡大が懸念されています。

・メキシコで 12 年ぶりのコレラ流行

メキシコでは、中央部のイデルゴ州を中心に 9 月からコレラの流行が発生しており、患者数は 180 人にのぼっています(WHO Global Alert and Response 2013-11-13)。イデルゴ州は首都メキシコシティの

近郊にあり、同市でも 2 人の患者が確認されています。メキシコに滞在する際は飲食物に十分注意するようにしてください。

今回のメキシコでのコレラ流行は 12 年ぶりのものですが、この原因として、カリブ海のハイチでおきている流行の波及が考えられています (ProMED 2013-11-13)。ハイチでは 2010 年以來、コレラの流行が続いており、今年の 10 月中旬までに累積患者数は 68 万人にのぼっています。

・タヒチで蚊に媒介される感染症が発生

南太平洋のタヒチなどで、10 月中旬から Zika ウイルスによる感染症が発生しています (米国 CDC Traveler's Health 2013-11-21)。このウイルスは蚊に媒介されるもので、デング熱と似た症状がみられます。同国では 11 月から 3 月までが雨季となるため、滞在中は蚊に刺されないように注意してください。なお、Zika ウイルスを媒介するネツタイシマカは昼間吸血するので、海辺などで日光浴をする際にも注意が必要です。